

関係者ヒアリング項目（案）

- (1) 業界ではどのような就業形態が多いか（主業が多いか、副業が多いか／他人を雇用しているか／法人化しているかを含む）
- (2) 業界で、個人請負が多い理由（就業者が業務委託や請負という働き方を選択する理由や、発注者が業務委託や請負という形式を採用する理由）
- (3) 就業者は、具体的にどのような仕事を行っているか
- (4) クラウドソーシング会社等の仲介事業者は活用されているか
- (5) 報酬額等、契約条件の交渉の方法と契約条件の決め方（主に発注者が決めるか就業者が決めるか、交渉の余地はあるか、等）
- (6) 業務委託契約や請負契約の取引の相手先の数等
 - ①契約ごとに相手先が変わるか、一社専属的か
 - ②主な取引先との契約等の期間は通常どのくらいか
- (7) 仕事に必要な材料・道具の負担や手配の主体は主に発注者か、就業者か
- (8) トラブル・怪我の有無及び内容、解決方法
 - ①仕事をする上で多い悩みやトラブル（例：受注が不安定、契約内容の変更、報酬不払、支払遅延、仕事の質・欠陥等）
 - ②トラブルの解決状況・解決方法
- (9) 「雇用類似の働き方に関する検討会」等で指摘された課題に関する実態と考え方
以下の課題に関する実態がどのようになっているか、保護が必要かどうかも含めてどのように考えるか。
 - ・ 契約条件の明示（契約条件等の書面等による明示の有無を含む）
 - ・ 契約内容の決定・変更・終了のルールの明確化、契約の履行確保
 - ・ 報酬額の適正化
 - ・ スキルアップやキャリアアップ
 - ・ 出産、育児、介護等との両立
 - ・ 発注者からのセクシュアルハラスメント等の防止
 - ・ 仕事が原因で負傷し又は疾病にかかった場合、仕事が打ち切られた場合等の支援
 - ・ 紛争が生じた際の相談窓口等
 - ・ 集团的労使関係
 - ・ その他（マッチング支援、社会保障等）
- (10) その他（業界特有の課題、団体として重点的に取り組んできた課題、行政に望むこと等）